

# 平成 22 年度 横浜市立図書館年報

## 目 次

1	沿革	P. 2	
2	機構・人員	P. 4	
3	図書館配置図	P. 5	
4	図書館一覧	P. 6	
5	平成 21 年度 横浜市立図書館の目標と振り返り	P. 8	
6	これからの図書館を視野においた取組	P. 13	
7	平成 21 年度 事業のまとめ	P. 14	
	(1) 利用者にとって、より便利で快適な図書館を目指します	P. 14	
	ア 身近な公共施設での図書の貸出・返却取次の試行（図書取次サービス試行事業）		
	イ 利用者の要望の把握（広聴事業）		
	ウ シングルサインオン開始		
	(2) 市民の調査研究を支援するとともに、図書館からの情報発信に努めます	P. 15	
	ア 図書館ホームページの充実	イ 広報活動	
	ウ 企画事業の実施	エ 市民の調査研究への支援	
	オ 行政への支援（庁内情報拠点化事業）		
	(3) 「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の推進に努めます	P. 19	
	ア 子どもの読書活動推進	イ ボランティアへの支援	
	ウ 学校への支援（学校連携事業）		
	(4) その他のトピックス	P. 21	
	ア 広告事業	イ 移動図書館	ウ その他
	(5) 関連記事	P. 22	
8	平成 22 年度 横浜市立図書館の予算と目標	P. 27	
	(1) 予算	P. 27	
	(2) 目標	P. 28	
9	図書館資料	P. 30	
	(1) 蔵書数	P. 30	
	ア 図書資料	イ 新聞・雑誌	ウ 参考資料
	エ CD-ROM	オ マイクロフィルム・マイクロフィッシュ	
	カ 個人貸出用図書・分野別所蔵数		
	(2) 年間受入冊数	P. 34	
	ア 図書資料[個人貸出・閲覧用]	イ 図書資料[団体貸出用]	
	(3) 年間除籍冊数	P. 35	
	ア 図書資料[個人貸出・閲覧用]	イ 図書資料[団体貸出用]	
	(4) 再活用図書	P. 35	

10	利用状況	P. 36
(1)	個人貸出	P. 36
	ア 登録者数      イ 貸出冊数      ウ 貸出延長冊数	
	エ 一日平均利用状況	
(2)	予約図書受付冊数	P. 38
	ア 予約受付冊数      イ 予約受付方法別	
(3)	レファレンス件数	P. 39
(4)	市外図書館との相互貸借冊数	P. 39
(5)	障害者支援事業	P. 40
	ア 登録者数      イ 貸出数      ウ 録音図書等蔵書数	
	エ 対面朗読と音訳者登録延人数	
(6)	音楽映像ライブラリー	P. 41
	ア 資料点数      イ 年間受入数      ウ 年間除籍数	
	エ 利用点数      オ ブース利用回数	
(7)	移動図書館	P. 42
	ア 移動図書館車の駐車場と利用状況      イ 病院、施設等の訪問実績	
(8)	団体貸出	P. 43
	ア 登録図書館別団体数      イ 利用状況	
(9)	企画事業、その他の事業	P. 44
	ア 全館事業      イ 中央図書館の主な事業      ウ 地域図書館の主な事業	
	エ おはなし会等事業      オ 検索機使い方相談・講座      カ 出展・後援	
	キ 講師派遣	
11	他都市との比較	P. 50
12	横浜市立図書館条例・規則	P. 52
13	図書館カレンダー	P. 62

表紙図版 絵葉書【横濱居留地 Foreign Street, Yokohama.】

明治末期—大正前期 トンボ屋製

横浜外国人居留地（現・中区山下町）の様子を写した絵葉書。通りは本町通り、奥は山手の丘。人力車の左に自転車が見える。左のモダンな窓や外装の店は「ケリー&ウォルシュ商会」（Kelly & Walsh Limited）で、書籍・雑誌・新聞・文房具などを扱い、長く営業した。居留地内を幾度か移転したが、図版では角地なので60番の時代か。洋書の店として市内外で知られ、大佛次郎は随筆で子どもの本が多かったことなどの思い出を書いており、長谷川伸の自伝に、この店を思わせる描写がある。また出版社として、ブラックの『ヤング・ジャパン』やパピノの『日本歴史地理辞典』、アーネスト・サトウやヘボン、チェンバレンの日本関係書などを出している。香港・上海・シンガポールにも店があった。